

市民病院および周辺地域のまめ知識情報をお届けします。

病院巡歩

Vol 3. ISS階

市民病院の2階は高いなと思われたことはありませんか。当院の2階はJR岸辺駅から続くデッキの高さに合わせて作られているので、1階の階高は6.8mあります。この高さを利用して、1階と2階の間に、実は設備専用のフロア(階)があります。ここには空調機器、配管、ダクトスペースとなっており、Interstitial Space Systemを略して「ISS(階)」と呼ばれています。また、将来、設備のメンテナンスを行いやすく、レイアウト変更を行う際の制約を軽減しています。

8階	病棟
7階	病棟
6階	病棟
5階	病棟
4階	病棟 リハビリ 回復期リハビリ病棟
3階	手術・ICU・救急病棟・透析
2階	総合受付・外来・検査・化学療法・患者支援センター・レストラン
1階	救急・放射線・内視鏡・健診・薬剤・コンビニ・カフェ・講堂



ISS(階)の様子

緩和ケア(PEACE)研修を開催しました



緩和ケアとは、がん等の病気を抱える患者さまやその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアです。

9月14日(土)、当院にて緩和ケア(PEACE)研修会を開催しました。緩和ケア委員会が中心となり、新病院移転後、初めての開催となりました。

研修会では、患者家族会の方の講演や、グループワーク、患者と医療者のロールプレイなどを通じてコミュニケーションの取り方などを学習しました。当院の職員を含めて、22名の参加がありました。



防犯訓練を実施しました

10月21日(月)、患者さまやご家族さまの安全の確保と、安心して病院を利用して頂くため、当院講堂にて職員への防犯訓練を行いました。警察官の方より、不審者への「さすまた」の使用方法、間合いの取り方等をおしえてもらいました。



防犯訓練の様子

防火訓練を実施しました

10月24日(木)、病棟内で火災が発生した想定で訓練を行いました。当日、参加者は被害状況の報告、避難情報の収集を迅速に行い、自らの改善点を確認していました。



防火訓練の様子

平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

この冊子は2000部作成。一部当たり33円です。

編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

吹田市民病院 だより No.72

〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL(06)6387-3311
FAX(06)6380-5825
ホームページ
<https://www.suitamhp.osaka.jp/>
メールアドレス
shomu@mhp.suita.osaka.jp



院内コンサートを開催しました

8月27日(火)、当院1階エントランスホールで院内コンサートを開催しました。これは「チェロ、ピアノ、バイオリン〜ふれあいコンサート〜」と題し、吹田市の若手音楽家が当院の患者さまやご家族さまに癒しのひと時を届けることを目的に、吹田市文化振興事業団メイシアターの協力を得て開催されたものです。



井上輝浩/チェロ

- バッハ 無伴奏チェロ組曲より 第1番 プレリュード
- サン=サーンス 白鳥
- メンケン 『アラジン』より「ホールニューワールド」
- 木村弓 『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」
- メンデスゾーン 無言歌
- 嵐 ふるさと

松田美乃里/バイオリン

- エルガー 愛の挨拶
- クライスラー 愛の喜び
- マスネ タイスの瞑想曲
- モーツァルト ソナタ第18番 ト長調 K.301 より 第1楽章
- 葉加瀬太郎 エトピリカ

小濱祥歩/ピアノ

- ショパン 子犬のワルツ
- SMAP 世界に一つだけの花
- ドビュッシー 月の光
- リスト パガニーニ 大練習曲集 第3曲「ラ・カンパネラ」



クラシックの名曲から、耳なじみのあるポップな曲まで演奏を行い、大盛況でした。また、病棟のダイルームでもコンサートを開催し、入院中の患者さまに集まっていただきました。重厚な音色を放つチェロとピアノのハーモニーに、こちらも好評を博しました。

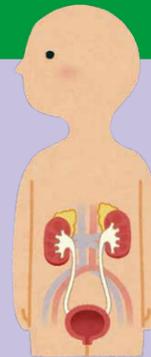
病棟ダイルームでのコンサートの様子

市民公開講座を開催しました



10月5日(土)、当院にて市民公開講座を開催しました。テーマは「市民病院の腎臓泌尿器科」で、63名の方にご参加いただきました。

前立腺がん治療や、排尿障害、腎不全、透析についてお話をしました。講演終了後の健康相談会では、多くの質問が寄せられ、盛況のうちに終わりました。



演題① 「増えています、前立腺がん —早期発見方法から最新の治療方法まで—」



腎臓泌尿器科 部長 田中 智章 医師

前立腺がんは高齢の男性に多い病気です。初期には排尿痛などの症状が出にくく、症状がないことが多いです。前立腺がんは比較的進行が遅いがんであり、治療の種類も多くあります。大切なことは、早期発見・早期治療です。患者さまもこのような講座などで知識をつけていただき、一人で悩まず家族や身近な人に相談することが大切です。また、定期的に前立腺がん検診を受けるようにしましょう。

演題② 「—みんなひそかに悩んでいる— 女性の排尿障害」



腎臓泌尿器科 佐竹 伸 医師

排尿障害は、男性では前立腺肥大が主な原因で、女性では出産や加齢によって、尿道や膀胱を筋肉が支えきれなくなることなどが原因です。尿失禁は女性に多い疾患です。保存療法として、骨盤底筋体操(筋トレ)で外尿道括約筋や骨盤底筋群を強くすることで改善します。継続して行う必要があります。改善しない場合は手術療法があります。尿失禁は多くの方が経験されます。受診をためらう方もおられますが、治療をすれば治る病気なので早めに受診していただきたいです。



演題③ 「本当は怖い尿蛋白の話 —腎不全に至らぬために—」



腎臓泌尿器科 部長 熊田 憲彦 医師

4万959人。これは何の数字だと思いますか。これは毎年、新たに透析治療を始められた患者さんの人数です。現在、日本では33万4500人の方が透析治療をされており、その原因の一つとして、尿に蛋白が出る病気(慢性糸球体腎炎)があります。しかし、尿に蛋白が出ていてもあまり自覚症状がなく、気づきにくいことが多いです。尿に蛋白がでると次第に腎臓が悪くなり、ある程度まで進行すると治療が困難になります。

ただ、早い段階では治る可能性があります。検診などで尿蛋白の数値が高いと言われた方は、たとえ症状がなくても、早く医療機関を受診してください。

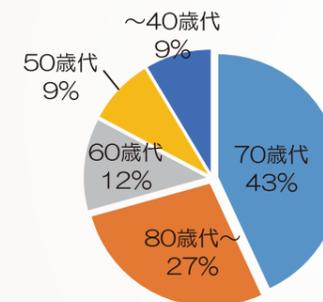
アンケート結果



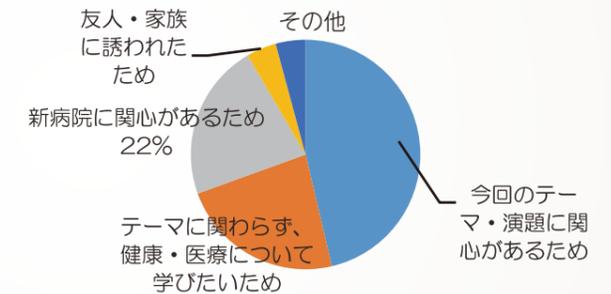
● 参加いただいた方のご感想

- ・腎臓の大切さがよくわかりました。尿蛋白に注意します。(70代・女性)
- ・説明スライドがわかりやすかった。(60代・女性)
- ・透析のことや、腎臓のことをほとんど知らなかったので、とても勉強になりました。(男性・40代)
- ・このように市民公開講座も時々開いていただいて、大変有難い。健都が吹田で本当に喜んでいきます。(80代・女性)

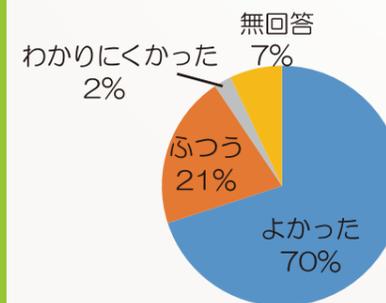
● 参加者のご年齢



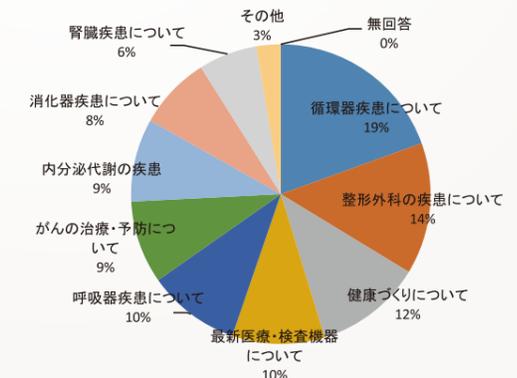
● 市民公開講座に申し込まれた理由



● 今回の講座へのご感想



● 今後、市民講座で取り上げてほしいテーマ



「すいた健康EXPO2019」に出展しました

11月4日(月)、ららぽーとEXPOCITY(エキスポシティ)光の広場で開催された「すいた健康EXPO 2019」に出展しました。市内市外よりたくさんの方にご来場いただき、盛況のうちに終わりました。

